

問1 北海道の自然環境と地形について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2021年 東京都公立入試 類似）

- |   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| 1. 道北部には、火山灰などが長い年月をかけて降り積もったローム層が堆積する台地が見られる | 2. 道西部には、サンゴ礁が隆起して形成された水はけの良い石灰岩の台地が広がっている | 3. 道東部には、季節風の影響で形成された砂丘が広がり、大規模な施設園芸農業が行われている | 4. 全域において、夏の季節風の影響を強く受けるため、年間を通じて高温多湿な気候となっている |
|---|--|---|--|

問2 北海道の製造品出荷額等の内訳について、全国平均では約11.6パーセントにとどまる一方で、北海道では全体の約33.1パーセントと3割以上を占め、最も大きな割合となっている工業部門は何ですか。（2018年 三重公立入試 類似）

- |          |         |         |         |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 食料品工業 | 2. 機械工業 | 3. 化学工業 | 4. 金属工業 |
|----------|---------|---------|---------|

問3 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）

- |       |            |       |        |
|-------|------------|-------|--------|
| 1. 温帯 | 2. 冷帯（亜寒帯） | 3. 熱帯 | 4. 乾燥帯 |
|-------|------------|-------|--------|

問4 北海道中央部を流れる石狩川の中流から下流域にかけて、かつて広く分布していた土地の名称を答えてください。この土地は、寒冷な気候により枯れた植物が十分に分解されないまま積み重なったもので、水分が非常に多く栄養分に乏しいという特徴があります。（2025年 千葉公立入試 類似）

- |        |        |       |       |
|--------|--------|-------|-------|
| 1. 泥炭地 | 2. 三角州 | 3. 台地 | 4. 盆地 |
|--------|--------|-------|-------|

問5 北海道の平野部について述べた次の文のうち、石狩平野の特徴として最も適切なものはどれですか。なお、北海道の地形において石狩平野は西部に、十勝平野は東部に位置しています。（2024年 徳島公立入試 類似）

- |                                      |   |                                       |   |
|--------------------------------------|---|---------------------------------------|---|
| 1. かつての泥炭地を土地改良によって克服し、大規模な水田地帯となった。 | 2. 火山灰が厚く堆積した土地を活かし、ジャガイモやテンサイなどの畑作が行われている。 | 3. 冷涼な気候と広い土地を利用して、乳牛を飼育する酪農が最も盛んである。 | 4. 険しい山々に囲まれた盆地であり、夏に高温になる気候を活かした稲作が行われている。 |
|--------------------------------------|---|---------------------------------------|---|

問6 北海道のある都市の気候統計において、年平均気温が約8.9度、年降水量が約1106.5mmであり、特に12月や1月の降水量が比較的多いというデータが見られました。この都市が位置する場所として最も適切な条件はどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）

- |                            |                                 |                             |                            |
|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域 | 2. 北海道の東側に位置し、親潮（寒流）の影響を強く受ける地域 | 3. 北海道の中央部に位置し、海から離れた盆地状の地域 | 4. オホーツク海に面し、冬には流氷が押し寄せる地域 |
|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------|

問7 日本の各地域の農業を比較した統計において、北海道は農業従事者一人あたりの農業産出額が約1570万円となっており、他地域の平均である約310万円と比べて極めて高い数値を示しています。このような北海道の農業を支える背景として最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

- |  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| 1. 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。 | 2. 都心に近い立地を活かし、限られた土地に多くの労働力を投入して単位面積あたりの収益を上げる集約的な農業を行っている。 | 3. 気候が温暖であることを利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて他の地域より出荷時期を早める促成栽培が主流である。 | 4. 傾斜地の多い地形を活かして段々畑を作り、果樹などの高付加価値な作物を少人数で栽培している。 |
|--|--|---|--|

問8 北海道の石狩平野などでは、かつて枯れた植物が十分に分解されずに積み重なった、水分が多く農業に不向きな「泥炭地」が広がっていました。この土地で稲作などを可能にするため、他の場所から質の異なる土を運び入れて土壌の性質を改善する土地改良の手法を何といいますか。（2022年 三重公立入試 類似）

- |       |       |           |       |
|-------|-------|-----------|-------|
| 1. 客土 | 2. 干拓 | 3. 段々畑の造成 | 4. 輪作 |
|-------|-------|-----------|-------|

問9 北海道の釧路周辺における夏の気候について、統計資料では「8月の平均気温が約18度と低く、日照時間も短い」という特徴が示されることがあります。このような気候になる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬公立入試 類似）

- |   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| 1. 暖流である日本海流（黒潮）が湿った空気を運び、大量の降雨をもたらすため。 | 2. 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。 | 3. 冬の季節風が山脈を越えて吹き下ろし、フェーン現象が発生して乾燥するため。 | 4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風「やませ」が、日本海側に低温をもたらすため。 |
|---|--|---|--|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 道北部には、火山灰などが長い年月をかけて降り積もったローム層が堆積する台地が見られる	北海道の北部には、地質学的に古い火山灰などが堆積してできたローム層を含む台地が存在します。こうした台地や丘陵地帯は、北海道の広大な景観を形作る要因の一つとなっています。石灰岩の台地（カルスト地形）は山口県の秋吉台などが有名であり、サンゴ礁の隆起は南西諸島に見られる特徴です。また、北海道は冷帯（亜寒帯）に属し、梅雨の影響をほとんど受けない寒冷な気候が特徴です。
問2	<b>答え 1</b> 食料品工業	北海道は、広大な農地を活かした大規模な農業や、豊かな漁場を背景とした漁業が非常に盛んです。これらの豊富な農水産資源を加工し、乳製品や水産加工品、砂糖などを製造する工業が発展しているため、工業生産全体に占める割合が全国平均と比べて極めて高いことが特徴です。
問3	<b>答え 2</b> 冷帯（亜寒帯）	日本の大部分は温帯に属していますが、最北に位置する北海道は冷帯（亜寒帯）に分類されます。この気候帯は、冬の寒さが非常に厳しく、夏が短いことが特徴です。札幌市の統計を見ると、1月の平均気温がマイナス5度前後まで下がる一方、7月には20度を超えるなど、年間の気温差が大きいことも特色の一つです。
問4	<b>答え 1</b> 泥炭地	石狩川流域の低地には、植物の遺体が長年かけて堆積してできた泥炭地が広がっていました。泥炭地はスポンジのように水分を多く含み、農作物の栽培には適さない不毛の地とされていましたが、明治時代以降の開拓において重要な開発対象となりました。
問5	<b>答え 1</b> かつての泥炭地を土地改良によって克服し、大規模な水田地帯となった。	石狩平野の最大の特徴は、泥炭地という厳しい自然条件を土地改良によって克服し、水田地帯へと発展させた歴史にあります。選択枝にある火山灰地での畑作は十勝平野、大規模な酪農は根釧台地、盆地での稲作は上川盆地などの特徴であり、それぞれの地域の土地条件と農業形態を関連付けて理解することが重要です。
問6	<b>答え 1</b> 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域	北海道の日本海側に位置する都市（札幌など）は、対馬海流（暖流）の影響を受けるため、冬に北西の季節風によってもたらされる雪の影響で、12月や1月の降水量が多くなります。年平均気温が9度前後、降水量が1100mm程度という数値は、北海道の中でも比較的温暖で、冬の降雪が顕著な西岸地域の典型的な特徴を示しています。
問7	<b>答え 1</b> 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。	北海道の農業は、明治時代以降の開拓の歴史を背景に、他都府県と比較して一戸あたりの経営規模が非常に大きいのが特徴です。広大な耕地を効率よく管理するため、大型のトラクターやコンバインなどの機械化が進んでおり、その結果として、農業従事者一人あたりの生産額が他地域を大きく上回る大規模経営が実現しています。
問8	<b>答え 1</b> 客土	石狩平野などに広がる泥炭地は、水はけが悪く地盤も軟弱であったため、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、他の場所から肥えた土や粘土質の土を運び込む「客土」という大規模な土地改良が行われました。この努力によって、北海道は日本有数の稲作地帯へと発展しました。干拓は海や湖を仕切って水を出し陸地化すること、輪作は同じ土地で時期をずらして異なる農作物を育てることを指します。
問9	<b>答え 2</b> 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。	北海道の太平洋沿岸には寒流の千島海流（親潮）が流れています。夏、この冷たい海面上に南からの暖かく湿った空気が流れ込むと、空気が冷やされて大規模な濃霧が発生します。この霧がカーテンのような役割をして太陽の光を遮るため、沿岸部では日照時間が極端に短くなり、気温が上がらない「夏でも涼しい」気候が形成されます。